

## 7月25日(水) うなぎを食す! ~夏の暑さを乗り切ろう

暑さが厳しく夏バテになったり、食欲不振となったり体が疲れやすいこの時期。そのため、栄養価が高く夏の暑さを乗り切るためのスタミナ補充として、江戸時代の頃からうなぎを食べるならわしが定着したと言われています。施設でも毎年恒例となっており、先日みなさんでおいしくいただきました。利用者様からは「柔らかかった」「錦糸卵とのコラボが絶妙でとても美味しかった」と大好評。これで、猛暑続きのこの夏を乗り切れることでしょう。



## 愛らんとの利用者様に聞きました。

Q1 愛らんの魅力は?

- ・10年通所しています。もらえる工賃は少ないですが、みなさんと過ごす時間が楽しいです。
- ・信頼できる職員さんがいるので、安心して通所しています。また、楽しく作業ができて工賃ももらえるのが嬉しい。
- ・作業が楽しいので、休まず来ています。

Q2. 愛らんの今後について要望は?

- ・作業の他に、カラオケなどのレクリエーションがもう少し多いと嬉しい。
- ・新しい作業が増えるといいなと思います。



\*次号ではあゆ夢の利用者様にお聞きします。お楽しみ!

多くの企業・ご家族様・関係者の皆様より、ご寄附をいただき心から厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。また、引き続きコロナウイルス感染防止にご理解、ご協力のほどよろしくお願いたします。

- ・藤田自動車工業(株)池田様 ・アmano(株)・日進LRD・山口商店・キングラン北海道(株)
- ・ご家族様 ・ご利用者様 【順不同】

## ★わたしたちが編集しました★

「社会福祉法人札幌会」の広報誌は愛らんどが企画・編集・発送までを担当しています。その際、中心となって携わる「編集委員」が毎月編成されますが、8月号は、川原さん、竹林さん、寺尾さんが担当となりました。編集委員は記事の内容を話し合い、意見を出し合いながら作業を進めます。広報誌が完成したら、宛名シールを貼り、封筒に入れます。今回もフレッシュなニュース・情報をお届けできたと思っています。



編集委員:川原 真也・竹林 裕美・寺尾 紗雪



「パネル作り」終了後みんなで記念撮影  
お話をしない約束でマスクを外して撮影しています

社会福祉法人 札幌会

■障がい者支援施設 あゆ夢

■生活介護事業所 愛らんど

■相談室 らいと

〒003-0029

札幌市白石区平和通17丁目北1番12号 ぴあとびあ17

Tel: 011-846-1107 fax: 011-846-1187

URL: <http://www.piatopia.jp>

## CONTENT

- ・あゆ夢~縁 日
- ・愛らんど~月の会
- ・土用の丑の日給食メニュー
- ・法人よりご寄付のお礼